

自動車用ベアリング収納トレーで国内一のシェア

だいわ かがくこうぎょう
大和化学工業株式会社

真空成形で作られていた自動車用ベアリング収納トレーを、中空成形技術で製造することで、ベアリング輸送中のトラブルを大幅に削減することに成功。

自動車の安全を支える陰の主役ベアリング収納トレー

ベアリングは自動車の回転を支える精密部品、これが不良であることは許されない。ところが輸送中に収納トレーから外れたり、ずれたりしてベアリングに傷を付けるトラブルに悩まされてきた。従来の1枚のプラスチックの板に凹みをつけた真空成形の収納トレー図1、この欠陥を見事に解決したのが中空成形の収納トレー図2である。

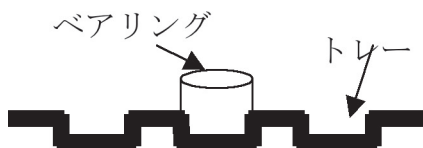


図1 真空成形のトレー

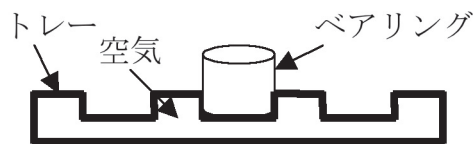


図2 中空成形のトレー

真空成形のトレーは、トレーのヒズミを吸収できないが、中空成形のトレーでは、トレーの内部に入っている空気がヒズミを吸収して収納したベアリングが抜けにくいことが容易に想像できる。



真空成形トレー

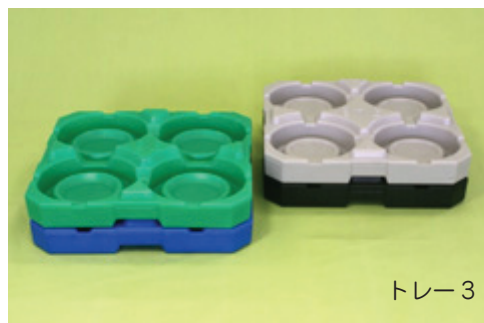


中空成形トレー

中空成形ベアリング収納トレーの優秀さ

ベアリングメーカーからその技術的根拠を示すように要望があり、ベアリングがトレーから外れにくいことを証明するため振動試験を行う必要があった。このため、大阪府立産業技術総合研究所で振動試験を行い、左右のゆれに対しては明らかに差があることが判明した。そこで神戸大学海事科学部の振動の権威者の先生にお願いし、上下振動も含め研究をしていただいた。当製品が極めて優れた耐振動性があることが証明され、北海道で行われた学会発表で広くこれが認められた。

おかげで、中空成形のベアリングトレーの市場占有率は100%だそう。



トレー3

ベアリング収納トレーの今後の展開

平成 17 年から開発を始めたベアリング収納トレー事業は、トヨタ車向けには 100% 採用され、マツダ、スズキにも採用されている。最近 BMW 社向けにも採用された。世界に認められた商品となってきている。自社の売上に占めるトレーの割合も 40% を超える。

平山社長さんは、今後、お客様の要望にきめ細かに対応しながら、世界の全ての自動車用ベアリングの収納に利用される商品にしたいと自信をもって語られた。

高い異形中空成形技術力

中空成形の代表製品は、清涼飲料水や液体の容器であるビン。しかし、同社の中空成形品は、複雑な形をしたいわゆる異形製品が主だ。流れにくい樹脂を空気の圧力だけで型に押し付けるのが異形中空成形技術である。同社は、異形中空成形技術を駆使して、ベアリング収納トレー以外にもハンドドライヤー部品やトナータンク、印刷機部品など光学・計量機器部品分野、ダクトなど橋梁・道路・建築関連分野など種々の製品を生み出している。

お客様と新製品を打ち合わせるときは、製造現場の従業員を同伴させるなど、顧客ニーズを肌を感じながら、ものづくりにまい進している



大和化学工業株式会社



代表取締役社長 平山 雅英

〒 635-0814

奈良県北葛城郡広陵町南郷 986 番地 1

■ TEL ■ 0745 - 54 - 5121

■ FAX ■ 0745 - 54 - 5539

■ URL ■ <http://www.daiwaci.co.jp>